

工業部会長報告

1. 会議名 第1回部会総会
2. 日時 2022年9月21日（水） 15：00～16：30
3. 場所 ホール80
4. 出席者 33名（部会員22名、他部会員11名）
5. 協議 **2号議員選任のための選考委員の選任について**
6. 懇談 「JAPEXが目指すCN社会に向けた取り組み」
石油資源開発(株)秋田事業所 所長 高橋利宏 氏

【懇談概要】

- ・世界的な脱炭素化の流れを踏まえ、**総合エネルギー企業としての方向性を示す「JAPEX2050」**に加え、2030年までを見据えた**中長期の成長戦略となる「JAPEX経営計画2022-2030」**について説明。

【JAPEX2050】

- ・2021年5月に、2050年までに**温室効果ガスネット排出量ゼロ（ネットゼロ）**達成のために「**JAPEX2050～カーボンニュートラル社会の実現に向けて～**」を策定。
- ・現在の取り組みを再整理し、**カーボンニュートラル社会で果たす責務と注力分野を明確化。**
- ・2050年ネットゼロへ貢献する「**総合エネルギー企業**」として新たな可能性を追求する。



【CCS/CCUS技術の実用化】

- ・ ネットゼロ社会実現へ貢献する分野として、CO2を分離・回収し、地下へ圧入・貯留による**実質排出量を削減する技術である「CCS/CCUS技術」**の早期実現に向け取り組んでいる。

【JAPEX経営計画2022-2030】

- ・ カーボンニュートラル社会実現への貢献を見据えた収益力の強化と中長期の事業基盤構築に向けた「JAPEX経営計画2022-2030」を策定。以下**3分野を重点項目として取り組みを進めている**。

事業基盤

E&P分野

早期の収益規模拡大へ貢献しつつ
低炭素化へも対応

新規権益取得への
投資継続と
操業の低炭素化対応推進

I/U(インフラ・ユーティリティ)分野

油価変動など外部環境の変化に
耐えうる事業構造への移行

再生可能エネルギーを
はじめとする
事業規模の拡大

CN(カーボンニュートラル)分野

2050年CN社会への
円滑な移行に貢献

既存油ガス田などを活用した
ハブ&クラスター型
CCS/CCUSモデル事業

【「JAPEX2050」を踏まえた本計画～2050年に目指す姿】

石油・天然ガス安定供給、再エネ拡大、CCS/CCUS実現 によるCN社会への貢献

- ・石油・天然ガスは今後も主要な役割を果たす認識については、脱却ではなく、その**安定供給とCN社会実現との両立を目指す**。
- ・2030年度には、再エネをはじめとするインフラ・ユーティリティ分野の拡大、CCS/CCUS事業サイクル確立による**多様なエネルギー供給の実現に目処をたてる**。
- ・2050年カーボンニュートラル社会については、CO₂貯留と分離回収・輸送・利活用の各事業者との協業で**中心的役割を果たす総合エネルギー企業となる**。

2号議員選任のための選考委員9名を選出し、別室にて選考委員会を開催した。

協議の結果、2号議員の内定者は次のとおりとなった。

【2号議員内定者】

- ・ 株式会社 相場商店
- ・ 猿田興業 株式会社
- ・ 東部瓦斯 株式会社秋田支社
- ・ 株式会社 東北フジクラ
- ・ 日本精機 株式会社
- ・ 北光金属工業 株式会社